

株式会社系乗建設

2024 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



®環境省
エコアクション21
認証番号0013351



発行日： 2025年1月10日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10

環境経営方針

株式会社糸乗建設は、地域社会への貢献と共存を図る為、地域と共に住みよい暮らし・発展を目指して建設業・運送業を通じ地球温暖化のリスク低減に取り組み、地域への環境活動を推進します。また、環境経営方針を確実に行う為、法令を遵守し、継続的な改善に努めてながら下記の活動を推進していきます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1． 建設機械・工事車両等の使用する燃料や排出する二酸化炭素の低減・削減に努めます。
- 2． 自然環境に配慮した建設機械や工法を選択し、自然環境を考慮した施工に努めます。
- 3． 一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努力し、建設リサイクル活動の推進に努めます。
- 4． 節水活動を行い、水使用量の削減に努めます。
- 5． 現場用品・事務用品は出来る限り環境に良い品物を選んで使用するよう努めます。
- 6． エコ活動通じて、活気ある明るい職場づくりの推進に努めます。
- 7． 地域の社会貢献活動を積極的に参加するよう努めます。
- 8． 環境経営方針を弊社に関わる全ての方々に周知徹底・共有し実現に努めます。

2021年4月1日 改定

株式会社 糸乗建設
代表取締役 糸乗直希



□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社糸乗建設
代表取締役 糸乗 直希
- (2) 所在地
本 社 兵庫県豊岡市日高町名色1469-1
日高営業所 兵庫県豊岡市日高町奈佐路752
資材置場 兵庫県豊岡市日高町名色1484-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 副社長 糸乗 昌希 TEL：0796-20-7447
担当者 同上 糸乗 昌希 TEL： 同上
- (4) 事業内容
土木構造物の施工・管理、資材運搬
- (5) 事業の規模
売上高 59,286 万円 (2024年1月～2024年12月)

	本 社	日高営業所	合計
従業員 名	0 名	28 名	28名
延床面積 m ²	31.35 m ²	1953.71 m ²	1,985m ²

- (6) 事業年度 1 月 1 日 ～ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社糸乗建設
- 対象事業所： 本 社
日高営業所
資材置場
- 対象外： なし
- 活 動： 土木構造物の施工・管理、資材運搬

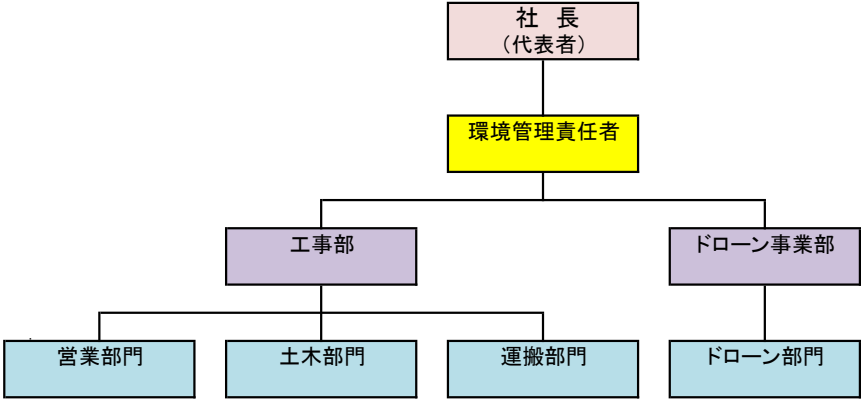
□事業や製品(商品)の紹介



SDGS事業認定

□保有建設機械・保有運搬車両の一覧

建設機械			
バックホウ	0.8級	3台	(全車ICT搭載車)
〃	0.45級	3台	(うち1台ICT搭載車)
〃	0.25級	1台	
〃	0.1級	1台	
小型タイヤショベル		1台	
建設運搬車両			
10 t ダンプ		7台	
4 t ダンプ		2台	
3 t ダンプ		1台	



	役割・責任・権限
社長(代表者)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、情報等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境への取組の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認・公表
工事部	・環境経営計画の審議 ・環境への取組実績の確認・評価
ドローン事業部	・環境経営計画の審議 ・環境への取組実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境への取組計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境への取組へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		478,031	490,689
廃棄物排出量	kg		8,042	3,772
一般廃棄物排出量	kg		190	290
産業廃棄物排出量	kg		7,852	3,482
水使用量	m ³		176	274

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 2018年度関西電力の調整後排出係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値(2023)	2024年度		評価	2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,680	3,644	4,450	×	3,607	3,570
	基準年度比	2023年	99%	121%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	471,311	461,885	484,065	×	452,459	443,032
	基準年度比	2023年	98%	103%		96%	94%
※2 上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	474,991	465,528	488,515		456,065	446,602
一般廃棄物の削減	kg	190	182	290	×	182	179
	基準年度比	2023年	96%	153%		96%	94%
混合廃棄物の削減	kg	7,852	7,695	4,978	○	7,538	7,381
	基準年度比	2023年	98%	65%		96%	94%
水道水の削減	m ³	176	172	274	×	169	165
	基準年度比	2023年	98%	156%		96%	94%
環境に配慮した工事の推進	ダンプの燃費、環境に配慮した工法の提案						

※1 2024年1月1日～2024年12月31日

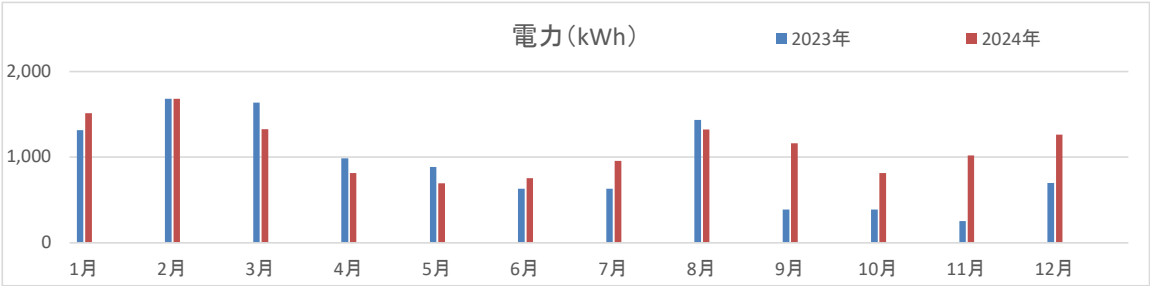
※2 環境経営目標の二酸化炭素排出量には規模の大きな電力使用、車両燃料のみを集計

※3 EA21で対象とする化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

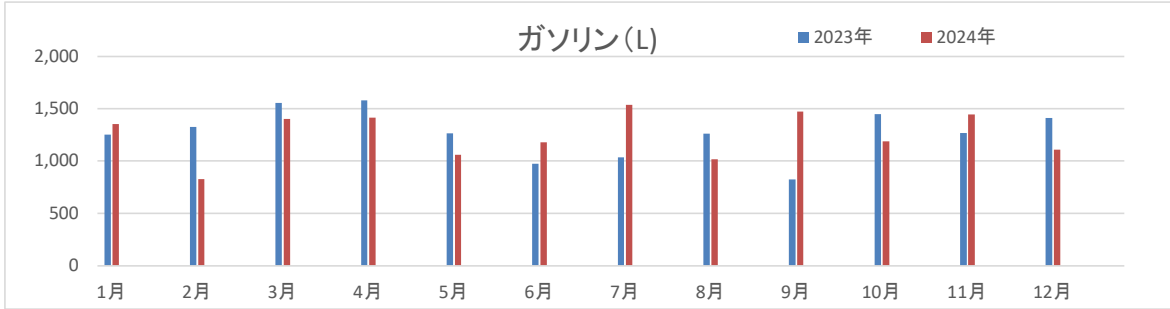
数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・ICT器材導入により、バッテリー等の充電が多くなり電力利用も増加した。 ・次年度は、なお一層の節電が出来るよう全社員で努力する。
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・残業削減	○	
・週休2日の推進	○	

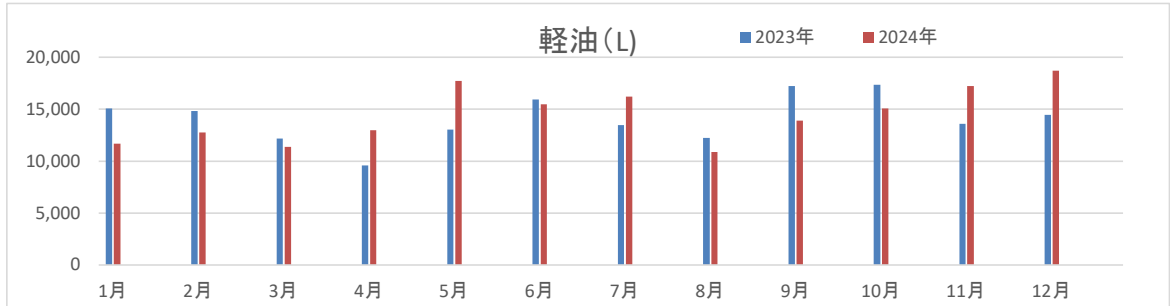


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	1,315	1,682	1,637	987	886	632	632	1,434	386	386	255	698
2024年	1,516	1,684	1,327	814	696	755	956	1,323	1,161	812	1,017	1,263

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・燃料高騰の中、車両・重機の稼働も多くなったことから燃料消費量は増えました。 ・次年度はアイドリング運転を減らしecoモードでの作業で、燃費向上を意識し環境へ配慮した運転に努める。
・エコドライブ推奨	○	
・効率的なルートで配送	○	
・乗り合い移動	○	

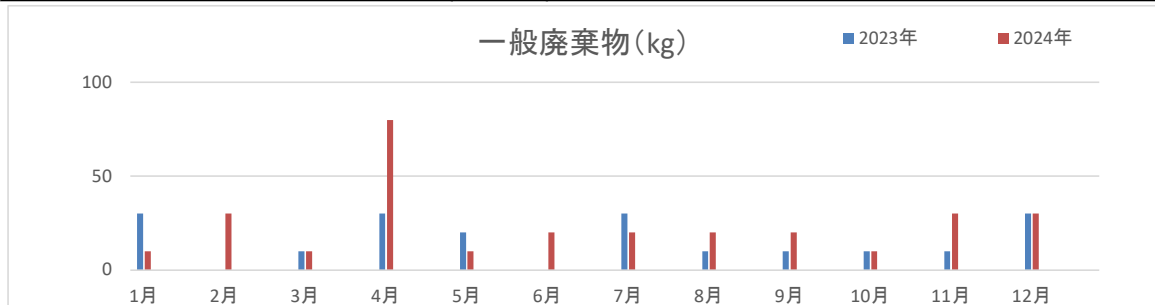


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	1,251	1,324	1,556	1,580	1,265	973	1,035	1,263	823	1,447	1,266	1,412
2024年	1,353	829	1,403	1,415	1,060	1,180	1,539	1,017	1,473	1,189	1,445	1,110



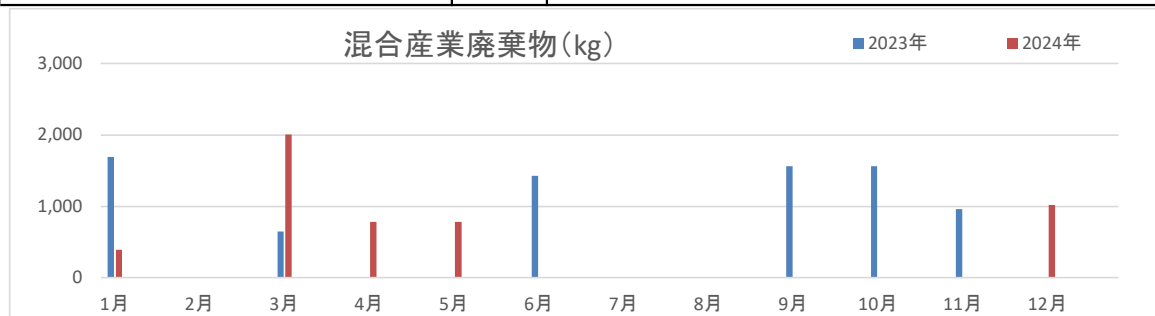
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	15,081	14,823	12,194	9,595	13,041	15,935	13,463	12,252	17,228	17,353	13,605	14,445
2024年	11,703	12,770	11,384	12,979	17,726	15,480	16,222	10,899	13,909	15,091	17,245	18,714

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・一般廃棄物(事業ゴミ)として処理しているため削減は未達成。 ・次年度も節約ムードを継続維持する。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙の再利用化	△	
・ペーパーレス推進	△	



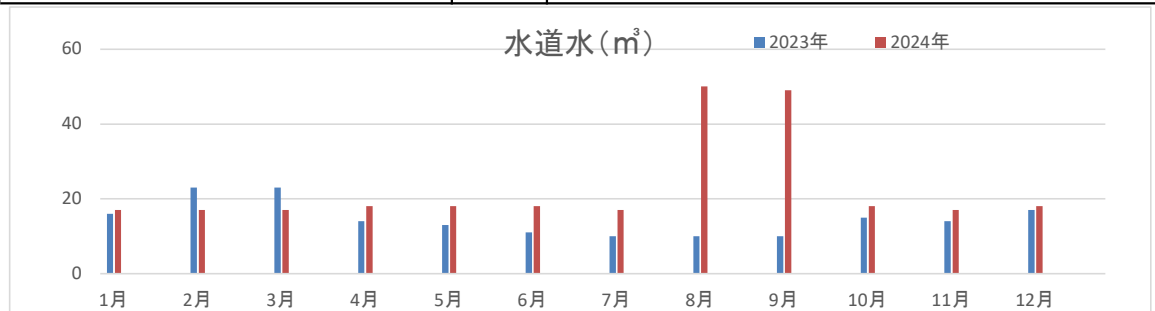
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	30	0	10	30	20	0	30	10	10	10	10	30
2024年	10	30	10	80	10	20	20	20	20	10	30	30

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	・次年度も分別により一層努める。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・分別の推進	△	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	1,690	0	650	0	0	1,430	0	0	1,560	1,560	962	0
2024年	390	0	2,008	780	780	0	0	0	0	0	0	1,020

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・社用車洗車終了時水道の締め忘れなどがあり目標を達成出来なかった ・次年度は洗車終了時の水道の締め忘れがないように全社員に徹底し、今後も節水に努める。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	16	23	23	14	13	11	10	10	10	15	14	17
2024年	17	17	17	18	18	18	17	50	49	18	17	18

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境に有益な工法を提案する。	○	・ICT活用で発注者とのコミュニケーションがとれ、なお環境に配慮した工法提案ができた。 ・次年度もより一層のICT等の技術を取り入れたい。 ・運転手へのアイドリングストップの周知徹底
・ダンプの燃費		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）、契約・マニフェスト管理
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物の管理
騒音規制法	特定建設作業届出
振動規制法	特定建設作業届出
下水道法	排水基準
消防法（危険物）	危険物の保管なし
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設機械のエアコン、点検・記録

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/12/27	■実施場所 日高営業所事務所
■参加者： 職長および責任者	■実施内容：火災対応手順書に基づき ・通報訓練、消火訓練、避難訓練および月例会議
■評価： 火災対応手順書が有効で、改訂箇所の無いことを確認しました。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024/12/27	■実施場所 日高営業所事務所
■参加者： 全社員	■実施内容：油類流出事故対応手順書に基づき ・通報訓練、油吸着手順確認
■評価： 油類流出事故対応手順書が有効で、改訂箇所の無いことを確認しました。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 糸乗直希 実施日：2025年1月9日

※EA21の取組みを開始し全社員がゴミ分別、節水・節電・燃料削減およびPET等リサイクルへの意識が年々高める事が出来、評価しています。一方、燃料の使用量は受注した工事の関係で重機の使用が増えたこと、また積極的なICT化の取組で充電量が増えた為に電気と燃料の目標が未達になりました。一般廃棄物は4月に保存書類の廃棄があったため一時的に増加しました。水使用量の増加は洗車後の水の出しっ放しがあったことから目標未達になりました。水道水の止水の徹底を図り以後は改善しています。
※ICT等の新技術を今年度も多く取入れ、環境に配慮しながら業務に努めるよう全社員に指示をします。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



下請現場での港湾施設の清掃をしている状況